

## 24. 中央検査科 (①病態解析、②内視鏡・超音波)

### ②内視鏡・超音波

#### 1. GIO (一般目標)

- 1) 専門科にかかわらず超音波はほぼ必須の臨床検査であり、疾患の診断のみならず腹水や胸水穿刺、中心静脈穿刺などの各種処置におけるガイドとしても重要である。臨床医として必要な超音波に関する一般的な知識と代表的疾患の超音波画像について習得する。
- 2) 内視鏡は消化器系の診断において非常に重要な位置を占めており、これらの専門科を選択する際には、その技術の習得は必須と考えられる。消化器内視鏡について診断、治療に関する基本的な知識と技術の習得を目標とする。
- 3) 近年のわが国における消化器疾患の疾患構造の変化に伴い機能性消化器疾患に関する特殊検査についての理解も、消化器専門医のみならず一般臨床医においても重要な時代になっている。消化器領域における各種機能検査について理解し、その機能診断法についても学習する。

#### 2. SBO (行動目標)

まず検査の見学、画像読影への参加により、検査手技と画像診断の実際を学ぶ。次のステップとして内視鏡は前処置やモデルを使用した内視鏡操作について学習し、超音波では健常モデルを用いて各臓器の走査法を見つけた後、実際の症例において検査を行い走査と画像読影のスキルアップを行う。機能検査については特殊検査の一つであり、検査の見学、結果の解析、治療方針決定の手順を学習する。

カンファレンス等

- 1) 毎週月曜日 16時00分より、研究カンファレンスを行う。
- 2) 毎週火曜日 7時45分より、術前、術後症例の消化器カンファレンスを行う。
- 3) 毎週木曜日午後より、内視鏡カンファレンス (総合内科学 2) が行われる。
- 4) 適宜：17時00分より、腹部超音波カンファレンスを行う。

#### 3. LS (方略)

週間スケジュール

曜日	午前	午後	夕刻
月	超音波・内視鏡検査研修	超音波・内視鏡検査研修 指導医による指導・自己学習	研究カンファレンス※2
火	消化器カンファレンス 内視鏡検査研修	超音波・内視鏡検査研修 指導医による指導・自己学習	
水	超音波・内視鏡検査研修	超音波・内視鏡検査研修 指導医による指導・自己学習	適宜：腹部超音波カンファレンス※1
木	超音波・内視鏡検査研修	特殊検査、 内視鏡カンファ (総合内科学 2)	
金	超音波・内視鏡検査研修	超音波・内視鏡検査研修 指導医による指導・自己学習	
土	WEC・自己学習		

※1. 腹部超音波カンファレンスについては 17:00 以降に行う。

※2. 研究カンファでは、研修医の学会発表、論文執筆に関して discussion を行うため、学術活動にも積極的に参加して欲しい。希望があれば実験等の研究活動にも参加してもらおう。

#### 4. Ex (評価)

- 1) 研修医は研修終了時に自己評価レポートを提出し、これに基づき指導医が研修状況を点検・評価する。超音波、内視鏡、特殊検査については下記に沿って評価する。
  - 1-1) 超音波実技、代表的疾患の超音波画像診断に関する知識の習得度について指導医が評価する。
  - 1-2) 内視鏡基本走査の基本についてはモデルを使用した内視鏡操作により評価する。代表的疾患の内視鏡に関する知識の習得度について指導医が評価する。

- 1-3) 特殊検査については、その検査の意義、代表的疾患の検査の適応などに関する知識について試問により指導医が評価する。
- 2) 学会発表、論文執筆についても指導を行うため、学術活動にも積極的に参加して欲しい。希望があれば実験等の研究活動の参加も可能である。